

学生生活を通して

大学院 2 年生

私はこれまで大学、6年、さらに小学校から高等学校までの期間を合わせると実に18年もの間学生として教育機関に在籍し、自身の成長と共に非常に多くのことを学ばせていただきました。今年学生生活の集大成を迎えるに当たり今強く思うことは、これまで大きな不自由無くここまで学び続けられたことに対する多大なる感謝の念です。これは奨学金にてご支援いただいた長井教育会の皆様はもちろんのこと、精神的にも支えてくれた家族、そしてこれまでわたしを支えていただいた多くの方々のおかげに他なりません。ここに礼申し上げます。

今18年間の学生生活を振り返ってみると、大学にて過ごした6年の期間が学術的にも、そして人間的にも大きく成長することが出来た大切な期間であったと感じます。それは私が志した情報通信技術者としての知識、技術を磨く環境が整っていたことはもちろん、将来やりたいことを見つけるために自分を顧みる時間を十分にいただけたことに起因します。大学を卒業し就職するに差し当たり自分が学んだこと、得意なことを再確認するとともに、それを社会で役立てていくにはどのようなアプローチをしていくか、時間をかけて明確にすることが出来ました。また、学生として気の向くままに様々な情報に触れることができ、自身の多くの可能性について考えることが出来ました。来年からはこれまで学んできた技術と自身の興味より、新興分野でもある情報通信業での職に就き、技術者として今後の発展に貢献していく所存です。情報通信事業では、技術の動向に目を向け、常に情報収集することが必要不可欠です。これまで着実に培ってきた自分から学び、発する姿勢を大切にし、誠実さを忘れず取り組んでいきたいと考えています。

最後になりますが、長井教育会の皆様には6年間の間ご支援いただいたこと、重ねて御礼申し上げます。多くの人に支えていただいて今の自分があることを決して忘れることなく、残りの学生生活と来年からの社会人生活に向けてさらに精進していきます。

行く先の見えない状況の中で

大学1年生

私は、今年の春から大学生となり新たな生活をスタートさせました。大学入学してからは、学習に対する意識も今まで以上に高まり、何事にも積極的に根気強く取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響もあり、入学式も顔合わせのオリエンテーションも何もかもが中止になり、どのような仲間・先生がいるのかもよくわからないまま不安を抱き前期がスタートしました。現在は、オンラインでの授業となっておりますが、将来の目標に向かって日々真剣に授業に臨み、さらに、授業を通して自分の興味のある分野についての知識を深めることができ、人間関係にも恵まれ非常に充実した学生生活を送ることができています。

私は、日々自分が成長でき、大学卒業後の進路サポートが充実している環境で学習がしたいと思い大学を選びました。さらに、生活していく中で、「今までお世話になってきた方々に地域貢献をすることで恩返しをしたい」「法律を使って人の役に立ちたい」「地域の治安を守りたい」と考えるようになったことから警察官を志すようになり、それをきっかけに法学を先行しようと決めました。今後は、法律についての知識を深め、自分を守るだけでなく他人も守ることができ、既存の法律を手がかりにしながら、現実の社会状況を認識し、そして認識した社会に対して、自分はどうのように関わっていくことができるかを考えることができる、なおかつどのようなことにも冷静かつ臨機応変に対応できる力を身に着けたいと考えています。そのために私は、4年間という限られた大学生活を通して、授業で知識を養うだけではなく、サークル活動やアルバイトなどで全国様々な都道府県から集まった仲間との交流を深め、切磋琢磨し合いながらたくさんの経験を積み、現代社会の現状や社会に出る上で必要な礼儀作法・マナーなどを学んでいきます。

最後に、私が大学生活を送るにあたって、ご支援いただいている長井教育会の皆様に感謝申し上げます。今後、常に感謝の気持ちと学び続ける意欲を忘れず、より一層勉学に励み、長井市に貢献できる人間を目指してまいります。